

令和8年度山形市地域公共交通協議会第1回全体会 会議録

日 時 令和8年5月19日(火) 午後2時から午後2時50分
場 所 市庁舎10階 1001会議室
出席者 別紙名簿のとおり
傍聴者 なし

1 開 会

2 あいさつ

3 出席者紹介

4 議 事

●協議事項

(1) 山形市地域公共交通協議会規約の改正(案)について
事務局より会議資料に基づき説明。
⇒質問及び異議はなく、承認された。

(2) 構成員改選期に伴う役員の選出について
事務局より会議資料に基づき説明。
⇒構成員での協議により、役員選出方法は事務局案となった。
事務局案 副会長：東北芸術工科大学 教授 吉田 朗 氏
監事：山形市自治推進委員長連絡協議会 会長 宮舘 照彦 氏
山形商工会議所 地域振興課長 後藤 新也 氏
⇒質問及び異議はなく、承認された。

(3) 令和7年度事業報告について
(4) 令和7年度収支決算及び監査報告について
(5) 令和8年度事業計画(案)について
事務局より会議資料に基づき説明。
⇒質問及び異議はなく、承認された。

(6) 令和8年度収支予算(案)について
⇒下記の意見及び質疑があった。その後、承認された。

【主な意見・質疑等】

山形地区ハイヤー協議会

令和8年度の市からの予算(負担金)が昨年度より200万円ほど少なくなっているが、予算確保が難しかったのか。

事務局

昨年度は計画の見直しという大きな業務があったため予算が大きかったが、今年度は「利便増進実施計画」の策定が中心となるため業務内容が異なる。実は今年度も事業費として1,000万円を想定していたが、国

の補助金(国庫補助)の内示率が想定を下回り 60%にとどまった。そのため、本年度は事業費 600 万円の範囲内で、計画策定を進めることとした。具体的には、嶋地区や、馬見ヶ崎周辺の交通結節点に関わる計画策定を進める予定。

山形地区ハイヤー協議会

内示率(補助率)は来年度以降どうなる見込みか。

事務局

来年度以降については、現時点でこの実施計画策定に関する協議会での予算計上の予定はない。ただ、他の交通事業に関する補助金も含め、全国的に国の予算上限の関係もあり、厳しい状況が続いている。国に対しては要望活動を継続していく。

国土交通省山形運輸支局

補足すると、国の補助金は補助率を公表しており、補助対象経費に対する補助率で算出するが、予算に限りがある中で各自治体に割り振る形となり、実際の「内示額」は補助率により算出した額を下回る額になっているのが現状である。ご不便をかけるがご理解いただきたい。

(7) 山形市における公共交通の取組内容について
⇒下記の意見及び質疑があった。その後、承認された。

【主な意見・質疑等】

東北芸術工科大学

コミュニティサイクルはニーズが高く「乗りたい時に自転車ない」という声がある反面、メンテナンスやバッテリー交換の負荷が大きい。台数を増やす際に、AI などを活用して再配置のシミュレーションや効率的な管理を行う想定はあるか。

事務局

今年度、車両購入の計画はないが、今後5年間で台数の拡充を図っていく予定である。今年度はオペレーションの是正策として、これまで一体だった「再配置」と「バッテリー交換」の業務を切り離し、「バッテリー交換」に注力する。更に、駐輪ポートを設置している企業と連携して、充電を依頼し、充電切れで動かない事態を減らしていく。

また、データを活用し自転車の再配置を行い、効率化を図った上で、今後の適正台数・ポート数を検討していく。

東北芸術工科大学

山形～蔵王間の新駅設置に関し、現在の運行頻度(1 時間に 1 本程度)のまま山形駅での乗り換え待ち等が発生すれば、かえって不便になる懸念がある。JR 側へ本数を増やすよう求めるダイヤ改正の協議や、山形駅を跨いで南北を直通するような「通過ダイヤ」の検討は進んでいるか。

事務局

今年度は「旧メドテック工場跡地周辺」を候補地とした各種調査(用地測量・物件調査等)の段階である。高頻度化については、新駅の価値を最大化するため JR 東日本と以前から意見交換を重ね、増便や社会実験の

可能性を協議している。また、南北の「直通運転」は効果的であるものの、JR での物理的・構造的なハードルもあるため、実現へのハードルは高いが、引き続き協議していく。

東日本旅客鉄道（株）東北本部

新駅・高頻度の件について、山形市と協議を続けているところである。弊社としては、山形新幹線・現行の在来線ダイヤの維持を大前提としつつ、その中で新駅・高頻度化に向けて、調整していければと考えている。

東北芸術工科大学

公共交通マップについて、ルートが複雑で色分けや表現が難しいと感じる。利用者が一目で理解できるよう、AI を活用してデザインや色分けを分かりやすく見直すようなアプローチは可能か。

事務局

視認性の向上(分かりやすさ)は利用促進に極めて重要。ご提案いただいた AI やデジタル技術の活用も含め、今後業務の中で取り入れられる手法を使い、より見やすいマップの表現を検討していきたい。

5 閉会

出席者名簿

(敬称略)

所属	職名	氏名	規約上の構成員区分	備考
山形市企画調整部	部長	奥山 泰子	山形市長又はその指名する者	
東北芸術工科大学	教授	吉田 朗	学識経験者	
東日本旅客鉄道株式会社東北本部 企画総務部 経営戦略ユニット	企画課長 (代理：チーフ)	小池 靖人 (代理：山本 克彦)	区域内の公共交通事業者	代理出席 (オンライン)
山形交通株式会社	取締役営業部長	四釜 英彦	//	
山形地区ハイヤー協議会	会長	石川 康夫	//	
山形市自治推進委員長連絡協議会	会長	宮舘 照彦	利用者代表	
山形商工会議所 地域振興課	課長	後藤 新也	//	
国土交通省東北運輸局山形運輸支局	首席運輸企画専門官	鈴木 仁	区域内の地方運輸局	
山形県村山総合支庁総務課連携支援室	室長	菅原 美樹	都道府県	
国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所 調査課	課長	松田 聡	区域内の道路管理者	
山形県村山総合支庁建設部道路課	課長 (代理：課長補佐)	小山 雄司 (代理：後藤 正孝)	//	代理出席
山形市都市整備部道路維持課	課長	前田 真一	//	
山形警察署 交通第一課	課長	山口 潤	区域内の警察署	
山形県交通運輸産業労働組合協議会	議長	齋藤 洋次	一般旅客自動車運送事業者の事業 用自動車の運転者が組織する団体	欠席

山形市企画調整部公共交通課	次長(兼)課長	城戸口 真一	事務局
	交通政策推進総括主幹 (兼)課長補佐	布施 浩治	
	課長補佐(地域交通戦略担当) (兼)地域交通戦略係長(兼)仙山 連携推進室連携推進調整主幹	小玉 正樹	
	交通結節点係長	佐藤 充	
	交通ネットワーク係長	矢矧 史彰	
	主任	金野 真依	
	主任	尾形 朋成	
山形市福祉推進部長寿支援課	係長	阿部 賢太	